



はじめに

本装置の設定は、RS-232C シリアル接続のローカルコンソール、またはネットワーク接続のリモートコンソールから行うことができます。ネットワーク接続では、Telnet などに代表される通信ソフトによるコマンドライン設定と、Web ブラウザによる Web 設定が可能です。

このマニュアルでは、ネットワーク接続による Web 設定について説明しています。対話形式による簡単な操作で、インターネット接続と VPN 接続の基本的な接続設定、IPv4 スタティックフィルタや静的 NAT の設定が可能です。また、一部のコマンド入力も Web ブラウザから可能です。

商標の表記について

Internet Explorer は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。その他、記載されている会社名・製品名は、各社の登録商標々 忸温
&
0 匱

Web 設定でできること

マニュアルの表記について

記号	意味
注意	

目次

1. WEB 接続の準備省	1
1.1. ケーブル類の接続	1
1.2. 本装置の電源を入れる	3
1.3.	

4.4. プロバイダ接続 < PPPoE 接続 >	41
---------------------------------	----

【ステップ4】 GE1ポートにLANケーブルを接続します。

本装置のLAN側ポート（GE1）とパソコンのLANポートを接続します。

【ステップ5】 GE0ポートにLANケーブルを接続します。

本装置のWAN側ポート（GE0）とフレッツ光ネクストやBフレッツのONUのLAN側ポートとを接続します。

【ステップ6】 電源ケーブルのプラグをAC100Vのコンセントに確実に差し込みます。

1.2. 本装置の電源を入れる

電源ス

芽

莢北

纏盒蛻潛睽 欠滲

颯 缠

S

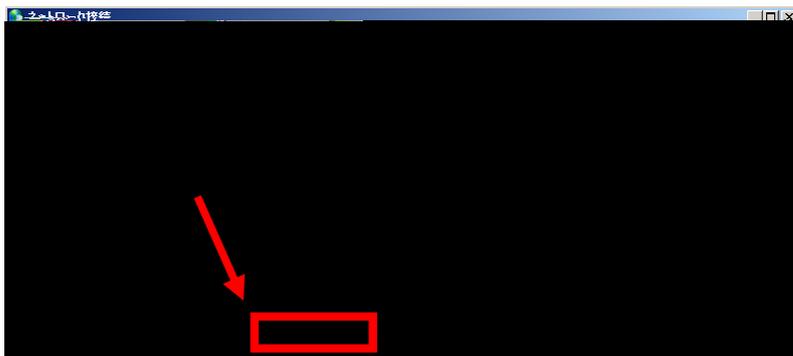
r

赫

温翳フ

缠窠 附

【ステップ3】 [ローカルエリア接続]を右クリックし、メニューの[プロパティ(R)]をクリックします。



【ステップ4】 「インターネットプロトコル(TCP/IP)」を選択します。

【ステップ5】 [プロパティ(R)]をクリックします。

【ステップ6】 [全般]タブをクリックします。

【ステップ7】 [IPアドレスを自動的に取得する(O)] のラジオボタンをチェックします。

【ステップ8】 [DNSサーバのアドレスを自動的に取得する(B)]のラジオボタンをチェックします。

【ステップ9】 [OK]をクリックします。



2.



3.かんたん設定

3.1. PPPoE によるインターネット接続

3.1.1. かんたん設定を開始する

【ステップ1】 ログインします。

【ステップ2】 トップページ「かんたん設定」をクリックします。

【装置名とログインの設定】画面が表示されます。

3.1.2.

3.2.3. LAN 側ネットワークを設定する

【ステップ 1】 本装置の LAN 側 IP アドレス、サブネットマスクを入力します。

【ステップ6】 IKE で使用される「事前共有鍵」の文字列を入力します。
半角文字で 1~128 文字まで入力できます。

【ステップ7】 IKE で使用される暗号と認証の「アルゴリズム」を選択します。
暗号アルゴリズムは、DES、3DES、AES(128 bit)、AES(192 bit)、AES(256 bit)から選択します。
認証アルゴリズムは、MD5、SHA1 から選択します。

【ステップ8】 IKE モードがアグレッシブモードのとき、「ID」を入力します。
IKE モードがアグレッシブモードのとき、接続を識別するための ID 入力が必要です。
半角文字で 1~255 文字を入力します。 . (ドット)間の文字数は 63 文字まで。

【ステップ9】 IPSec の「アルゴリズム」を選択します。
暗号アルゴリズムは、DES、3DES、AES(128 bit)、AES(192 bit)、AES(21ためため



【ステップ6】 [設定する]をクリックします。

3.4.4. 設定を保存する

【ステップ1】 「VPN 接続の設定が完了しました。」のメッセージを確認します。

【ステップ2】 [保存実行]ボタンをクリックします。

【ステップ3】 「全ての設定が完了しました。」のメッセージを確認します。

【ステップ4】 [トップページに戻る]をクリックします。

【トップページ】画面が表示されます。

4.



4.3. LAN 側ネットワーク

番号	項目	内容
	WAN 側ネットワーク	WAN 側ネットワークの下記の状態を表示しています。

4.4. プロバイダ接続 < PPPoE 接続 >

4.4.1. PPPoE 基本接続の新規設定

【ステップ1】 ログインし、【トップページ】画面の[プロバイダ接続の設定]をクリックします。

【ステップ2】 [PPPoE 基本接続の設定追加]をクリックします。

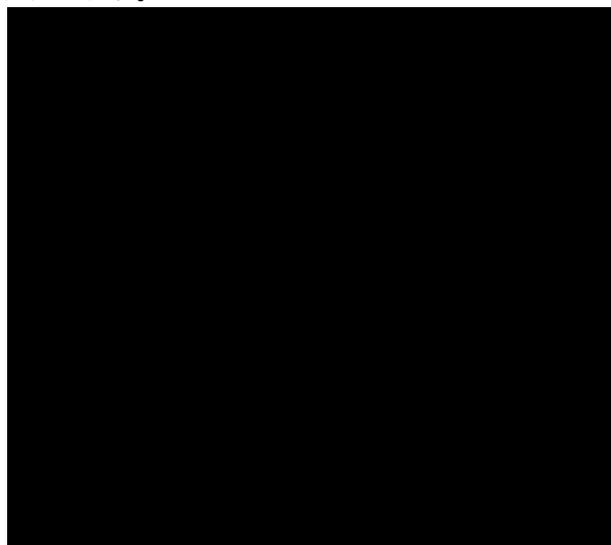
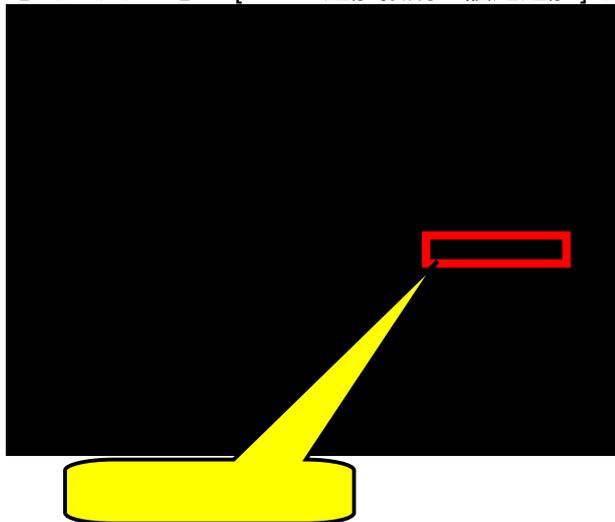
【ステップ3】 【PPPoE 基本接続の設定】画面の各項目を設定します。

【ステップ4】 [設定する]ボタンをクリックします。

4.4.2. PPPoE 追加接続(第 2 セッション接続)の追加設定

【ステップ 1】 ログインし、【トップページ】画面の[プロバイダ接続の設定]をクリックします。

【ステップ 2】 [PPPoE 追加接続の設定追加]をクリックします。



【ステップ 3】 【PPPoE 追加接続の設定】画面の各項目を設定します。

【ステップ 4】 [設定する]ボタンをクリックします。

設定しないときは、[プロバイダ接続の設定に戻る]をクリックします。



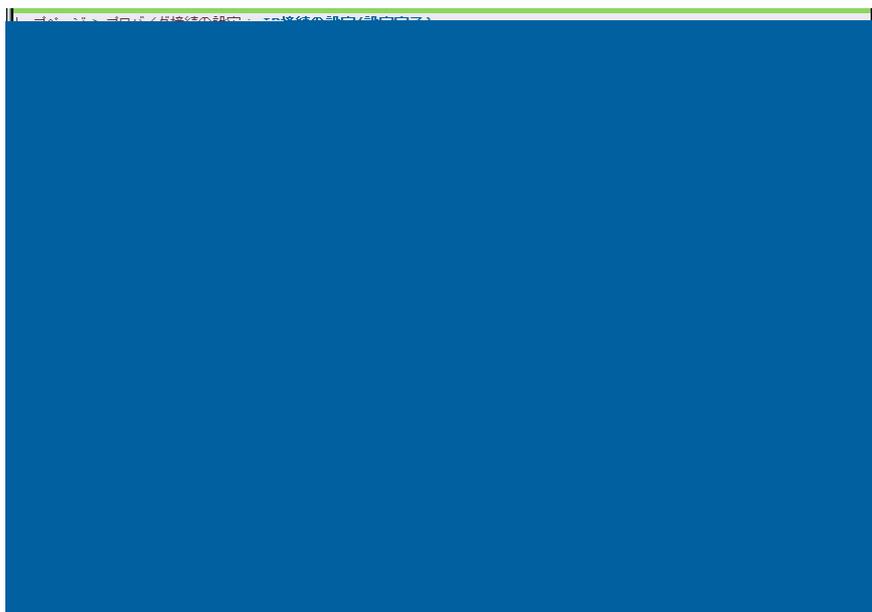
4.4.4. PPPoE 基本接続 / 追加接続の設定削除



番号	項目	内容
	接続名	接続先が分かるようなプロバイダの接続名称を入力します。



【ステップ5】 「設定を反映しました」のメッセージと、設定内容が反映されたことを確認します。



4.7.

4.7.2. IP トンネルによる VPN 接続の設定編集

【ステップ 1】 、 て

番号

項目

内容

4.7.3. IP トンネルによる VPN 接続の設定削除

4.8. VPN 接続 < IPv4 スタティックフィルタ >

4.8.1. IPv4 スタティックフィルタの設定

送信元
ポート番号



注意	表示例は PPPoE 基本接続での IPv4 スタティックフィルタの設定画面です。
----	---

注収

【ステップ 5】 「IPv4 スタティックフィルタを削除しました。」のメッセージを確認します。

【ステップ 6】 [IPv4 スタティックフィルタの設定に戻る]をクリックします。

【ステップ 7】 項目が削除されたことを確認します。

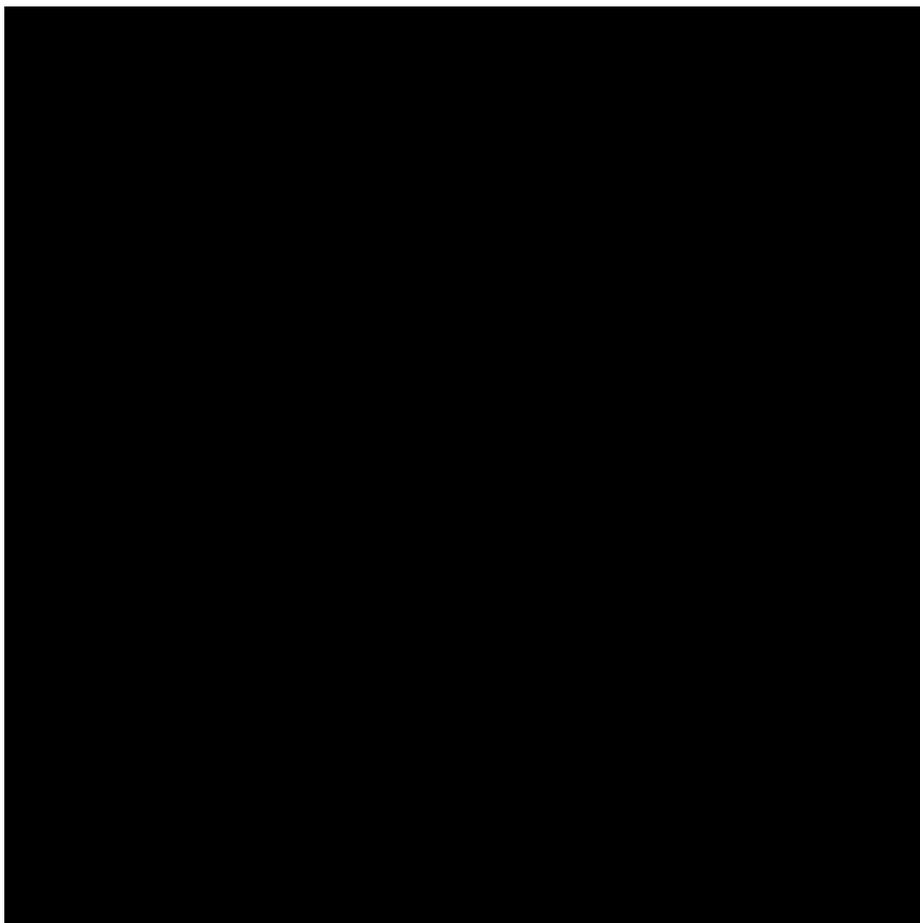
注意

注意 表示例は、PPPoE 基本接続での静的 NAT の画面です。

5. メンテナンス

5.1. 装置稼動状態の表示

5.1.1. トップページが表示内容



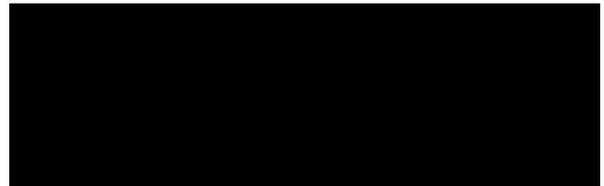
5.1.2. 装置稼働状態表示

5.3. ソフトウェアのアップデート

- 【ステップ1】 ログインし、【トップページ】画面の[装置のメンテナンス]をクリックします。
- 【ステップ2】 ソフトウェアバージョン、ブートストラップバージョンを確認します。
- 【ステップ3】 [ソフトウェアのアップデート]をクリックします。

解説

ブートストラップとは、電源スイッチが ON になったときに最初に動作するプログラムです。本装置の自己診断、ルータソフトウェアのロードなどを行います。



- 【ステップ4】 [参照]ボタンをクリックします。

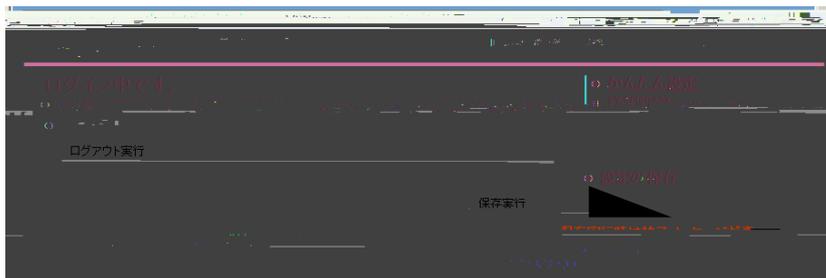
- 【ステップ5】 保存しておいたソフトウェアプログラムファイル(拡張子が「.rap」のファイル)を選択します。
- 【ステップ6】 [開く]ボタンをクリックします。

注意

ソフトウェアのアップデートには rap ファイルを使用してください。

5.4. 設定データの不揮発メモリへの保存

【ステップ1】 ログインし、【トップページ】画面の[保存実行]をクリックします。



【ステップ2】 「設定を保存しました。」のメッセージを確認します。

5.5. 設定データの確認とバックアップ

5.6. 設定データの本装置へのアップロード

【ステップ1】 ログインし、【トップページ】画面の[装置のメンテナンス]をクリックします。

【ステップ2】 [設定ファイルのアップロード]をクリックします。

【ステップ3】 [参照]ボタンをクリックします。

【ステップ4】 保存しておいた設定ファイル(拡張子が「.txt」のファイル)を選択します。

5.8. Web ブラウザでの Ping コマンドによる接続確認

【ステップ1】 ログインし、【トップページ】画面の[装置のメンテナンス]をクリックします。
